

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年11月30日

計画の名称	災害に備えるやまぐちのみちづくり（国土強靱化・防災・安全）												
計画の期間	令和03年度～令和04年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	山口県,防府市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 地震や大雨などによる自然災害等に備えるため、脆弱な区間を改良することにより、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの充実・強化を推進する。 災害時等における救急活動を支援するため、狭隘な道路の拡幅や、バイパス整備による線形不良箇所の改善等、緊急車両等の迅速かつ円滑な通行を確保する。 												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,300	A	1,300	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		35%	48%	51%
1	・整備中の路線において、災害時に脆弱となる区間の対策率を51%にする。 ・計画期間内において、災害時に脆弱となる区間の道路改良の実施率を算出する。 道路改良の実施率（%）＝（災害時に脆弱となる区間を解消した箇所数 / 災害時に脆弱となる箇所数）× 100	35%	48%	51%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	山口県	直接	山口県	都道府 県道	改築	(一)陶湯田線・黒川工 区	バイパス 0.7km	山口市						380	-	
		災害時に脆弱となる区間の解消																	
	A01-002	道路	一般	山口県	直接	山口県	都道府 県道	改築	(主)美祢油谷線・砂利 ヶ峠工区	バイパス 2.0km	長門市						50	-	
		災害時に脆弱となる区間の解消																	
	A01-003	道路	一般	山口県	直接	山口県	都道府 県道	改築	(一)油谷港線・久津工 区	バイパス 0.4km	長門市						150	-	
		災害時に脆弱となる区間の解消																	
	A01-004	道路	一般	山口県	直接	山口県	都道府 県道	改築	(主)山口福栄須佐線・ 平わらび工区	バイパス 0.6km	萩市						100	-	
		災害時に脆弱となる区間の解消																	
	A01-005	道路	一般	防府市	直接	防府市	市町村 道	改築	(他)四ノ楯三ノ楯線他	道路改良 1.0km	防府市						291	-	
		災害時に脆弱となる区間の解消																	
	A01-006	道路	一般	防府市	直接	防府市	市町村 道	改築	(1)栄町藤本町線	現道拡幅 0.26km	防府市						249	-	
		災害時に脆弱となる区間の解消																	
	A01-007	道路	一般	山口県	直接	山口県	国道	改築	(国)490号・木間工区	現道拡幅 0.4km	萩市						80	-	
		災害時に脆弱となる区間の解消																	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											小計						1,300		
											合計						1,300		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 災害に備えるやまぐちのみちづくり（国土強靱化・防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との適合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 整合を計っている上位計画名を記載。 やまぐち未来開拓ロードプラン	
I. 目標の妥当性 2) 広域的な道路計画や災害リスクが勘案されている。	○
I. 目標の妥当性 目標の客観性・具体性・地域性	
I. 目標の妥当性 1) 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 2) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性・円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画・事業の熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

3) 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。

○